

平成17年1月20日
原子力安全対策課
(16-108)
<15時記者発表>

美浜発電所1号機の出力量低下について
(湿分分離加熱器ドレンタンク上部からのわずかな蒸気漏れ)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所1号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力34.0万kW)は、定格熱出力一定運転中のところ、本日1月20日10時頃、運転員の巡回点検において、タービン建屋1階の湿分分離加熱器ドレンタンク*¹の上部保温接合部付近で、わずかな蒸気漏れが確認された。

このため、本日13時30分から出力降下を開始し、20時頃に電気出力約10%として、湿分分離加熱器ドレンタンクを隔離し漏えいを停止した上で、保温材を取り外し、漏えい箇所の特定期間の点検や補修を行う予定である。

なお、蒸気の漏れ量はわずかであり、運転パラメータ等に変化はなく、環境への放射能の影響はない。

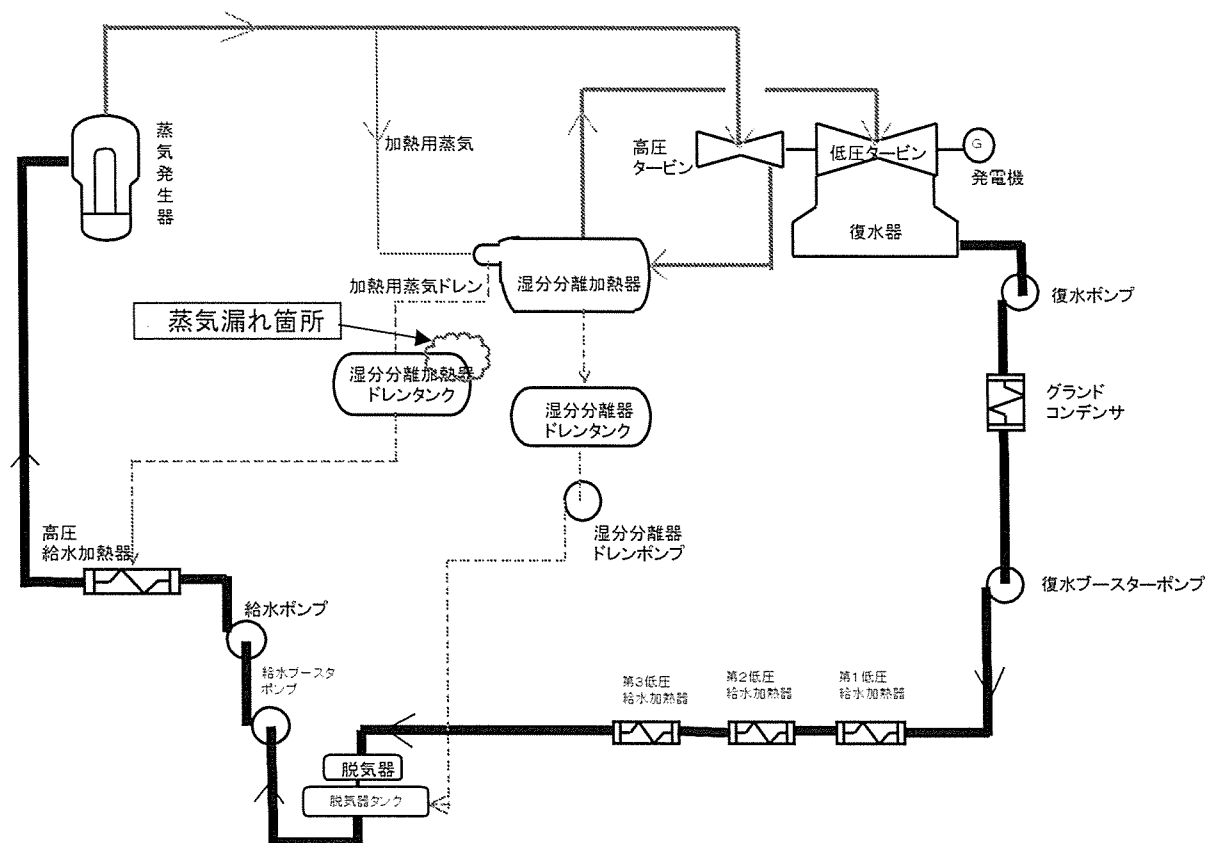
*1: 湿分分離加熱器ドレンタンク

高圧タービンで仕事をした蒸気は、湿分分離加熱器において湿分を取り除くとともに、高圧タービンの手前で取り出した主蒸気により再び加熱した上で低圧タービンに送られる。この湿分分離加熱器で加熱用に使用した蒸気のドレンが流入するタンクを湿分分離加熱器ドレンタンクという。当該ドレンタンクに流入した蒸気は、蒸気発生器に送る給水を加熱するため、高圧給水加熱器に送られる。

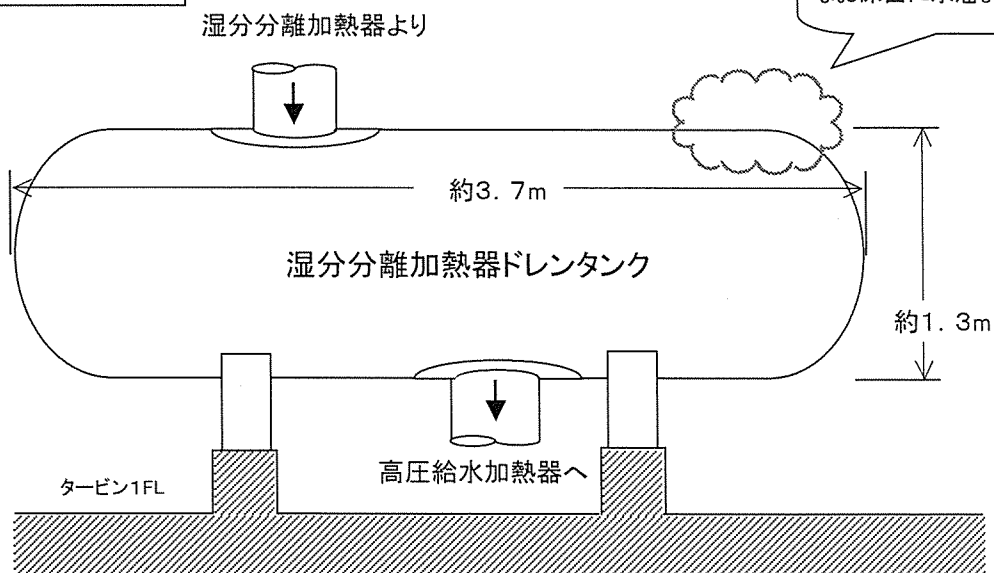
問い合わせ先(担当: 嶋崎)
内線2352・直通0776(20)0314

美浜発電所1号機の湿分分離加熱器ドレンタンク上部からのわずかな蒸気漏れに伴う出力低下について

系統別概略図



蒸気漏れ発見箇所図



材質: 炭素鋼
容量: 約3.5m³
運転圧力: 約4.8MPa
運転温度: 約260℃